

外科専門研修プログラム総括責任者のご挨拶

新久喜総合病院外科専門研修プログラムのホームページを見ていただきましてありがとうございます。新久喜総合病院は埼玉県北部の中核病院の一つで、高度な医療機器と入院機能を有し、24時間365日断らない医療をかけた地域に必要とされる救急疾患に対応しています。したがって当院の特徴として広範な医療圏で唯一の外科専攻医基幹病院であり、標準的な癌治療ばかりでなく救急疾患も多く、大学病院やがん診療に特化した病院では経験できない common disease の手術を幅広く経験することができます。そのような背景から、当院での外科専門研修プログラムは癌に対する待機手術だけではなく、外科専攻医に必須となる救急疾患に対応できる技術を習得することが大きな特徴です。

当院は2021年度より外科基幹施設として認可されました。外科医を目指している初期研修医の皆様が、当院で外科後期研修医として一緒に働くことを期待しております。

外科専門研修プログラム総括責任者

小野 聡

外科専門研修プログラムについて

地域の特性より外科専攻医に適した豊富な症例

内視鏡外科を含めた手術での早期執刀

充実した指導体制と学術活動への支援

サブスペシャリティ領域へのシームレスな移行

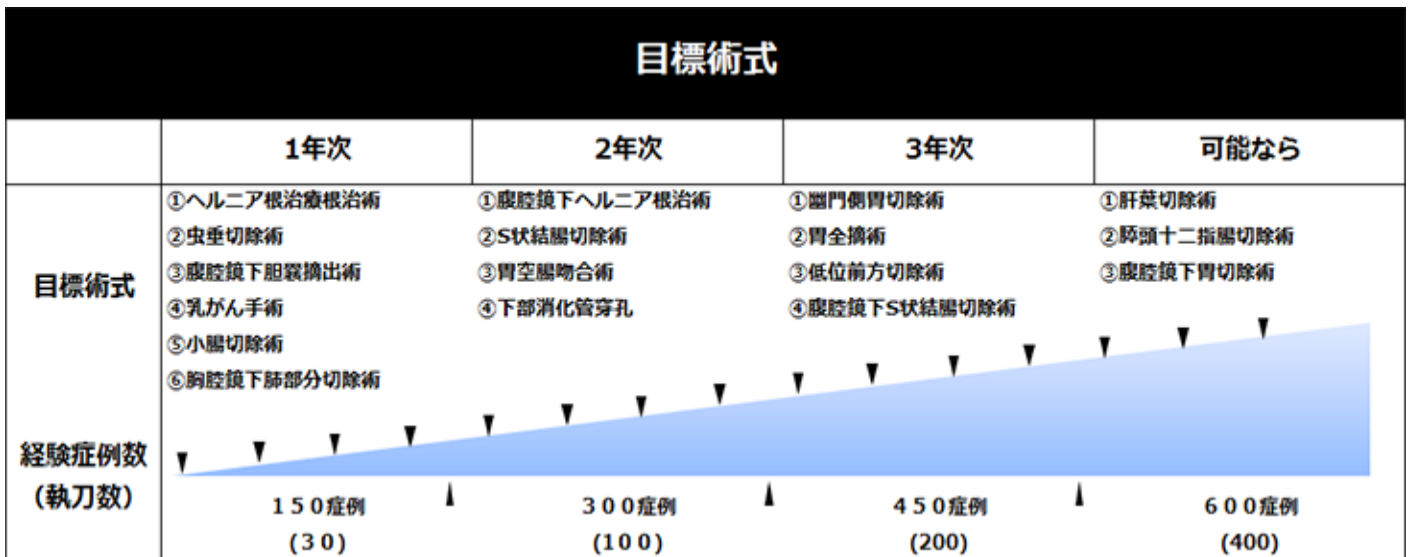
- 救急搬入者が多く、より臨床的な専攻医に必要とされる幅広い領域の症例
- 早い段階から外科手術を執刀し、継続的なスキルアップ
- 将来の専門領域（消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科 etc）へのアクセスを可能とするカリキュラム制
- 外科を目指す女性医師（結婚・出産・育児など）、地域枠医師に対するバックアップ
- 学術・診療外活動へのサポート（出張費など）
- 充実した指導体制 高難易度手術・内視鏡外科エキスパートの充実した指導体制
- 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医の育成

外科専門研修プログラムの特長

- 当院では虫垂切除術、鼠径ヘルニア根治術、胆嚢摘出術が年間で約 300 症例あります。その多くが腹腔鏡下手術で行われており、専攻医は一年目から主治医・執刀医として経験を積みみます。
- 当院では腹部救急疾患症例（上・下部消化管穿孔、急性胆嚢炎など）が極めて多く、緊急手術症例に対する診断と治療を数多く経験します。
- 結腸・直腸癌手術は年間およそ 100 例、胃癌手術はおよそ 50 例あり、第二助手(スコピスト)からはじめて徐々に第一助手レベルアップし二年目以降は主治医・執刀医として経験します。
- 2 年次以降は肝胆膵領域、下部消化管などの高難易度手術も修練します。
- プログラムはあくまで概要であり、外科専門医取得に必要な症例数は短期間で満たすことが可能です。実際の教育現場では症例報告/臨床研究をサポート（学会旅費を含めて）し、サブスペシャリティ連動型の体制をとっています。尚当施設は、日本消化器外科学会専門医制度認定施設、日本呼吸器外科専門研修連携施設、三学会構成心臓血管外科専門医認定基幹施設、日本乳癌学会関連施設であり、消化器外科専門医、呼吸器外科専門医、心臓血管外科専門医、乳腺専門医の取得が可能です。
- 3 年間の後期研修終了後の進路には、基幹病院や連携病院のスタッフ、大学医局への入局などが様々な選択肢があります。

目標術式の習得と目標達成評価

3年間の外科専門研修期間中に目標となる術式を規定し、年次毎に習得すべき術式と症例数を明確化しました。本プログラム専攻医には全員に目標を達成してもらい、指導医による評価を行います。その評価は次のサブスペシャリティ連動型プログラムへの参加を希望する場合に、その選考の参考となります。



外科専門研修プログラムでは、3年間の外科専門研修期間中に目標となる具体的な術式を設定し、目標達成までの術者としての必要な症例数を規定します。内視鏡外科手術にも目標術式を設定し、それぞれに必要なステップを明確化します。本プログラム専攻医終了時には少なくとも腹腔鏡下S状結腸切除術まではクリアしていただきます。

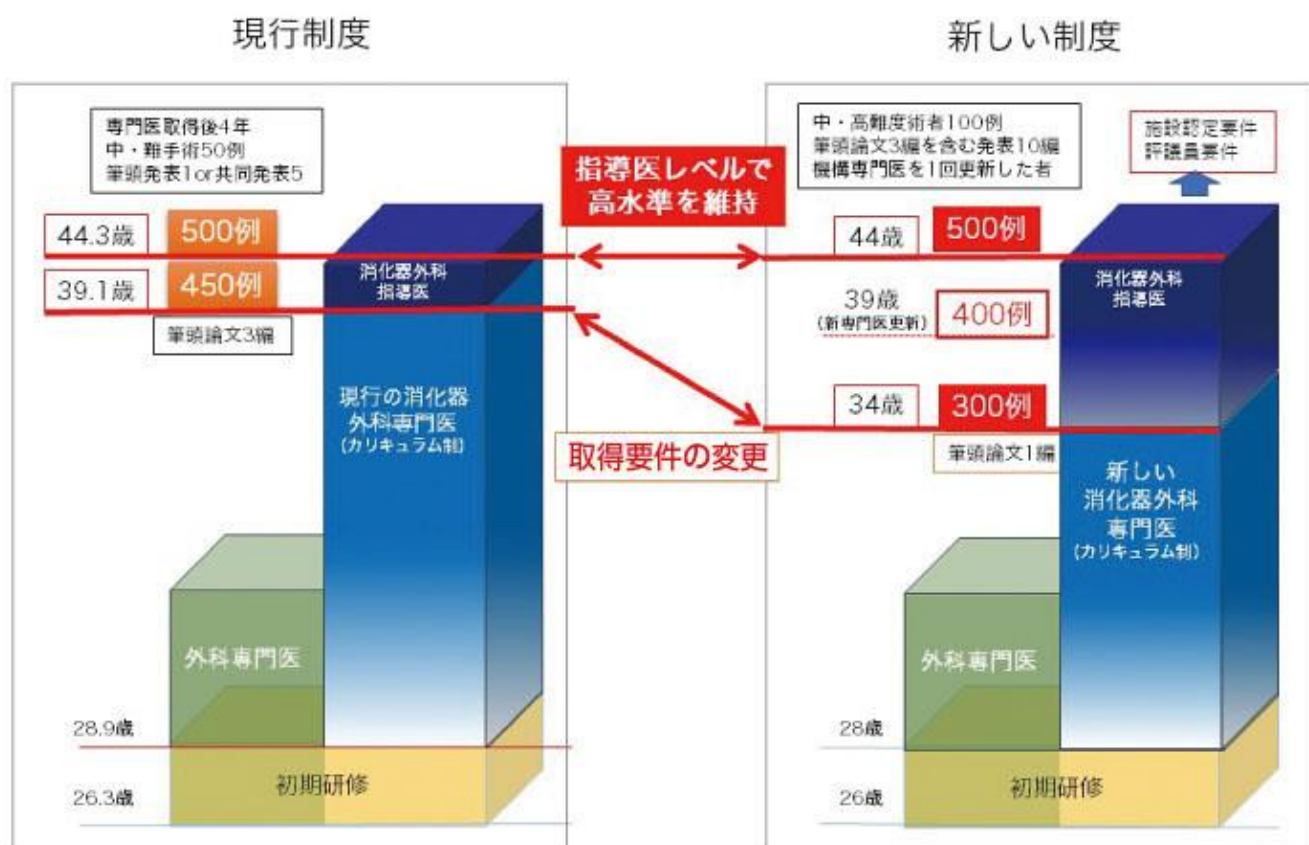
新久喜総合病院での NCD 症例数

NCD	消化器	呼吸器	心臓・大血管	末梢血管	乳腺	頭頸部	胸・腹腔鏡	合計
2019	571	100	168	165	113	34	382	1151
2018	524	82	135	153	91	35	358	1020

2019 年消化器外科手術件数

2019年度	食道切除	胃切除	結腸切除	直腸切除	肝切除	胆道系手術	膵切除	ヘルニア	虫垂炎	腸閉塞	腹膜炎手術	痔核・痔瘻	その他	合計
手術件数	2	45	48	21	17	130	20	99	45	17	26	21	35	526
鏡視下	2	12	23	9	0	119	4	61	44	2	2	0	4	282

今後の消化器外科専門医・指導医資格について



研修プログラムの目標

- 患者、家族、地域住民、国民から広く信頼される外科専門医となる
- 疾病と患者の状態を正確に把握し、適切に治療方針を立てる能力を身に付ける
- 外科的治療、手術を安全、確実に施行できる外科臨床能力を身に付ける
- 外来における患者の経過観察と健康管理を適切に行う総合臨床能力を身に付ける
- 外科学の発展のために臨床研究と学会発表、論文作成を遂行できる学力を身に付ける